

双鶴同窓会公式ホームページ
<http://www.soukaku.com/>

双鶴	検索
----	----

発行：双鶴同窓会 東京支部 事務局
〒216-0035 川崎市宮前区馬絹
1364-1 藤和宮崎台コープ201号

双鶴同窓会東京支部会報

い わし 雲

次の世代につなげよう
同窓会の輪

西高!G



VOL.
16

11/12(土)
同窓会へ
行こう!
▶詳しくは P9



飛躍する舞鶴

双鶴同窓会 東京支部長

増本治夫

前回の双鶴同窓会東京支部総会で前支部長山口文明さんが退任され、私が推薦により東京支部長に就任しました。皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願いよりお願い申し上げます。

今年の六月、双鶴同窓会本部総会に出席する機会に、リニューアルオープンされた舞鶴引揚記念館を訪れ、ユネスコ世界記憶遺産に登録された所蔵品などを見ってきました。土曜日の午後でしたが大型観光バスが次々と到着して引揚記念館が大勢の観光客で賑わっていました。世界遺産登録前に比べて入館者数が二〜三倍になり月に一万五千人にもなることでした。

子供の頃、たまたま父の仕事の関係で現場に居合わせて、興安丸が沖合に着いて引揚者が舳に乗り換えて棧橋に着岸し、出迎える方々と感動の再会を果たされる光景を目の当たりにしたことが思い出され、感無量の思いでした。舞鶴赤れんがパークにも立ち寄りしましたが、舞鶴市を含めた旧軍港四市が、文化庁による平成二十八年度日本遺産に認定されるなど、舞鶴の歴史・文化遺産の注目度が高まっています。京都舞鶴港の機能強化に加え、懸案の高速道路ネットワークも整備され

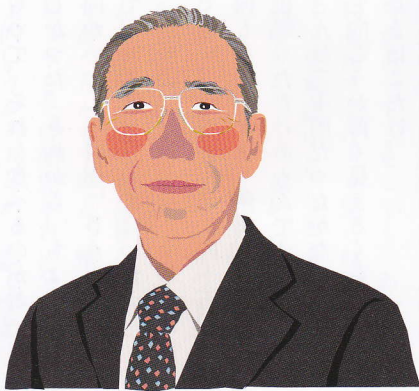




ました。さらに高速鉄道についても、北陸新幹線の敦賀以西のルートとして京都府北部(舞鶴)ルート誘致実現に向けての活動が盛り上がっています。

私は昭和四十六年に東北・上越新幹線のルート選定にエンジニアとして関わった経験があり、今回の北陸新幹線ルート選定にも強い関心を持って見えています。日本海地域は歴史・文化・自然のみならず海産物など食を含めて魅力いっぱいであり、このことは北陸新幹線金沢開業の大成功でも証明されたと思います。舞鶴は西の日本海地域への玄関口であり、北陸新幹線が京都府北部まで繋がることれば、今後の日本海地域全体の活性化への可能性が一気に高まり、舞鶴の飛躍が確かなものになるでしょう。

今年十一月十二日に、二年に一度の東京支部総会があります。是非多くの方々にお集まりいただいて、舞鶴を話題にしながら賑やかで楽しいひとときを過ごしたいと思えます。みなさんのご出席を心よりお待ちしております。

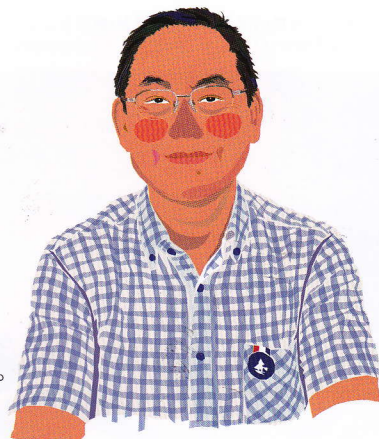


僕らの時代

双鶴同窓会会長

内藤 行雄

双鶴同窓会の新会長になられた内藤行雄さんは、生徒、教員、教頭、校長…と経験された、いわばミスター西高。当時を振り返り“昔の西高自慢”を語っていただきました。



僕らの西高時代は、洋楽ではちょうどビートルズの時代。西高生でも長髪の生徒がおりまして、結構長い目にして、怒られていました。

流行ではアイビーが入っていた時代。髪の毛を「カット」と分けてね、短か目のメンパン穿いて白いTシャツを着るのがカッコ良くて。白いTシャツがどこに売ってるのかも知らんと。「俺はTシャツ着てるんや」と、「それは、おまえ、グンゼの半袖のシャツや」と言われて笑われてたヤツもおりました。

オシャレなヤツは京都までTシャツ買いに行ったり、福知山に「VAN」やアイビーを扱う専門店があつて、そこに行つたり。持ち物に「VAN」と入つてると「うおー」と、みんな声あげてうらやましがつてました。僕ら高校入つた頃に「平凡パンチ」が発売されて、学校で見たりしているヤツがおりましたわ、内緒でね。女子の目もありましたしね。

歌は大学入る頃にはフォークソングが出て来るんですが、その前の高校の頃は、流行歌全盛時代ですね、舟木一夫とか三田明とか西郷輝彦。

校門を出た所に「岡パン」がありました。焼きたてのコッペパンにジャムを塗ってもらうとかバタークリームやら塗つても

らつて、それを食べるのがおいしかった。それから、ちようど向かいに「三喜屋」さんがあつて、お菓子を売つてはつた。

学食は、おうどん、中華そばぐらい。大盛の中華が四十五円、何もありませんよ、魚肉ハムが一枚載つただけのもんです。おうどんは二十円だったかな、ネギと向こうが薄く見えるくらいのかまぼこだけ。

西高 as No.1

東京オリンピックが高校二年です。西高の前を「聖火リレー」が走つたんです。

全校生徒が折原のところを並んで、それを皆で拍手して送つたんですけど、聖火持つて走る生徒たちはスターでした。多分、近畿大会に行くような運動部員ばかり選ばれて走つたと思うんですけどね、陸上部か誰か西高の生徒が聖火を持つて市内を走つたんです。カッコ良かったですわ。鮮明に覚えてます。

三年の時には、高校野球が四回戦まで行つたんです、ベスト16まで、京都府の。それで、そ

の時に応援部から「お前、明日空いてるか」と聞かれ「空いてたら野球の応援に来てくれ」と言われて、みんなで貸切バスで西京極まで行つて応援してました、その時だけの応援部員で。応援といえば、恒例だったのが、「総体」が近づくと生徒は土手に集まつて、先輩が下級生全員に応援歌を教えるんです。

「両丹高校総体」いうて、京都府北部の高校が全種目を競うスポーツ大会で、その日の一週間前から短縮授業で午前中しか授業がなくて、選手はその日のために連日猛特訓、土手では応援の練習です。

なんというて、西高は勝たなあかん、絶対に優勝しないとあかんかった。両丹で何もかも一番でないとなかなかない時代だったですね。そんな時代です。

日頃の指導も怖い先生がいっぱいおられて、「ちよつと来い。お前の服装はなんだ」言われて怒られる世界。ボタンを外して



るとか、カラーをつけてないとか。女子だったら、スカートが長かったり短かったり、靴下の色は白いと決まっているから、白以外を穿いていると「ちよつと片っぽ脱いでみ」言われて脱がされ、それをバアーツと屋根の上に投げられるんです。厳しかったです。

I am Mr. 西高

僕は家が商売をしていた関係で西高も商業科で、高校卒業しても進学は考えてなかったですが、担任の先生から「せつかく商業科で勉強したのだから大学行け」言われて名古屋の大学に行くことになって、先生にも勧められて教員試験を受けたら合格してしまい、それで教員に。

最初は綾部高校の定時制に五年間お世話になって、次に福知山高校で十一年、その後卒業から約二十年ぶりに母校の西高に教員として帰ってきました。

そして西高で十年、商業科の教員しながら、まあ、いろんな学校の校務なんかもして、十年経つて、その後教頭として綾部



高校の定時制、そして栗田の海洋高校、次の年、突然また転勤やというので、どこへ転勤するんやろかと思つたら西高だったんです。だけどそれも一年で、今度は校長だと言われてね。

だから僕は、この西舞鶴高校に、それこそ生徒と教員と教頭と校長と、今は学校評議員までさせてもらつていて、で、今度は同窓会長でしょ、ものすごい縁が深いんです。

同窓会なんて、僕らそんなもん全く関係のない世界だと思つてたんですが、西高の教員として勤務するようになったら、校内庶務というのがあつて、当時は何十人と西高卒の先生がおられて、お前も手伝え言われてすぐに。僕の仕事はね、毎年同窓会総会があるんですけど、出席者の名簿や名前書きの仕事。でも、そのお陰で覚えるもんですよ、

名前。あの人は何回生の誰々さんやとか。それで「誰々さんご苦労様です」とか言うのと、向こうにも覚えていたただけでね。

僕も西高で、五年間生徒指導部長で、やんちゃな生徒も多くて、地域にいろいろ迷惑かけたりにして、そのたびに同窓生の方にも随分お世話になりました。

保護者が学校へ乗り込んで来られるような時も「アホなこと言いに行くな」と周りで止めてくれたりね。「そんなこと言うんやつたら、おまえかて世話になつたやろ」と。僕らと同じ位の世代が増えてきて「内藤が居るんやつたら文句は言えん」と。そんなんで随分助けけていただきました。

歌い継がれる伝統

校歌や応援歌は僕らは歌えて当たり前前の世代。それが歴史とか伝統とかね、そういうものかさななやと思いますね。

だから我々若い頃に、よく友だちが集まって、わいわい言いながら「校歌歌うけ」、「応援歌歌うけ」言つて歌つたりすると、

「おお、お前ら西高の卒業生か」言うて一緒になつて、「声がちっちゃいな」とか言われてね、そういうのが日常でしたね。

福知山に赴任した時、舞鶴から西高出身の先生も何人かいて、その先輩の先生から「福知山来て舞鶴は小さくなつて必要はない」と言われて「舞鶴会を作れ」と。それで十人位、僕の前任の校長先生なんかもおられて、福知山でわいわい飲んで舞鶴まで帰るんですが、綾部過ぎるまではあかんですよ、静かにしてる、梅迫あたりになつたら、みんな徐にビール配つて「最後の一杯や」言うて飲んで「よし、校歌歌え」と歌わされたり、若いもんはいつまでたつてもそんなんでしたよ。

世代を超えて歌える歌というのはそういう歌なんです。西高の教員になつて、それこそ同窓生の先生がたくさんおられて、総会の前には決起集会みたいなのがあつて、そこでも歌わせられるんですけど、怒られるんです、先輩連中に。「おまえら節がなつとらん」とか「声が小さい」とか。すごい学校やなあと思ひました。教員になつてからも叱られるんやと。まあ、似た雰囲気は福知山高校なんかにちよつとだけ歴史が古い分、紳士的というか大人しかったですね。

生涯の仲間

今年、僕らは五十周年の同窓会をやつたんですけど、久しぶりに百五十人位集まつて、受付する時からロビーでわあわあ賑やかでした。

周年の同窓会する時には、目玉で何かやろうと、音楽をやつたりもしてたんですが、「うるさいからやめろ」と言われて、今回はスライドショーで昔を思い出しながらやろうと、最初に「当時の懐かしいスライドをお見せします。二十分ほど辛抱して見てください。」と言つて始めた



んですが、良かったのか、みんなスライド見ながら「わあ、アイツが映つとる」とか「あれ誰や」とか、そんなんで収拾つかないほど盛り上がりつたんです。

まあ、五十周年はほんまに大きな節目で、確かに交通の便が良くなつたいうても、関東や九州、四国から来る人たちは一日がかりですからね。来たくても来れない人もいるし。

身体がだんだん歳取つてくると不安になつて「行つて迷惑かけたら悪いから」と言う人もいて。でも一人、福井から車椅子で家族の人に付き添つてもらつて参加してくれた友人もいて嬉しかったです。

そんなにしてまで会いたい何かがあるんやなあと思つて。西高は僕には絶対忘れられない学校です。

Boys & girls BE AMBITIOUS!

西舞鶴高等学校 校長

長島 雅彦

昨年、西高の新校長に着任された長島校長先生に、
校長先生から見た“今の西高自慢”を語っていただきました。



西高ってどんな高校ですかと聞かれたら『勉強も、部活も、全部。』それを頑張る生徒たちが集まっている高校ですよ、と答えます。何事にも一所懸命で頑張る、努力する、そういう生徒たちです。

勉強に部活に充実した三年間を送れる高校であるため、入学希望者はものすごく多いです。

それは理数探究科を作って学校の魅力を増していったり、いろいろな面で向上させていったということもありますが、京都府教育委員会の方針が以前と違って、生徒が自分の行きたい高校に行けるような形に変えていったことが大きな原因です。

いま、全校生徒の割合は、西舞鶴地区が54%、東舞鶴地区が41%、綾部などが5%。理数探究科は逆転して東舞鶴地区の生徒が半数以上を占めます。通学では、西舞鶴の生徒は自転車や徒歩、中舞鶴の生徒もがんばって自転車通学してきますが、東舞鶴から西舞鶴駅を使って電車通学してくる生徒が35%います。その数300人を超し、一つの通学路に集中すると交通渋滞を引き起すので、一年生は遠回りして裏道を通るようにしています。それほど数の生徒が電車通学してきます。

同窓会に参加される方々の頃と現在とは、学校のありよう

が変わってしまい、逆に舞中時代のように舞鶴市の東西から勉強する生徒たちが集まってきた、それに近い印象、まさに舞鶴高等学校なんです。

可能性を 応援したい

西高の生徒は、勉強にも部活にも頑張るとても良い子ですが、反面、消極的な面があつて、可能性はめっちゃめっちゃあるんだけどその可能性を十分に生かしてきていない。それは我々教師から見ても、もったいないことだなあ、と思うんです。

ですから「殻を破ってチャレンジせいや」と、いろいろな場を与えて前へ出して自信を持たせたり、もつと自分ではできないだと自覚させてあげたい。田舎の生徒だって都会の生徒と同じように可能性を持っているわけで、その可能性をいかに引き出してあげられるかが我々西高の教師の課題だと思っています。

サイエンスの西高

理数探究科は、難関大学進学を目指す、いわゆる理数科系の専門学科ですが、いろいろな大学や機関と接点を持つことにより自分のやりたい事を見つける、自分を主張する、自分で主体的

に動いていける学科です。いま、西高のなかでも、良い意味で異色な集まりになっています。

彼らは大学に入っても自分の好きなことを学んで、好きなことを仕事にしていくでしょう。

そういうことを高校の時からしている生徒たちです。今度も西駅の交流センターで課題研究を発表します。そういうプレゼンテーションの機会が与えられているので、普通科の生徒に比べて一歩前へ進んでいきます。

この科には二つの面があります。舞鶴市内のオール5の生徒を集めて難関大学に向かわせるという面、もう一つは探究活動を通じて自主的に物事を考え学び、探究心を養っていくという面。探究と合格の両方をバランス良く両立させています。

今年で11期になりますが、むずかしいというイメージが先行しています。しかし、実際にはそんなことはなくて、理数が好きな生徒はもちろん、嫌いな生徒も好きになる、理数が苦手でもここに入ることのできるようになって自分の志す進路に繋がっていく、そんな学科です。

部活が熱い

それこそ放課後は、全校生徒870人のうち92%の生徒が部活動をしているので、校内は大変なことになっています。

グラウンドでは、野球、サッカー、陸上……と溢れています。体育館はバレー、バスケット、バトミントンがローテーションを組み、吹奏楽部も100名の大所帯なので楽器ごとにあちこちの部屋で練習……と、いろいろな部が学校中でいろいろな活動をしています。

両丹、京都の北部で最も部活が盛んな高校で、そういう意味で『勉強も、部活も、全部。』と言つてどこからも文句が出ない、まさにそういう高校です。

今年バトミントン男子が団体で創部以来初めてインターハイに行き、文科系では囲碁将棋部が女子団体で京都府代表、写真部も全国に進んでいます。近畿大会には陸上、ソフトテニス、水泳がそれぞれ大挙して行きま

巣立ちのために

昔からいわれることですが都会の生徒は、高校を卒業しても半数以上が自宅から大学に通い、

また、自宅から会社に勤めます。

西高のように、北部のいわゆる田舎の生徒は、卒業したら親元を離れてひとり暮らしをします。95%の生徒がそうです。田舎の生徒が親子で暮らすのは高校まで。だから18歳までに生きる力、ひとり生きていくための力を身につけて卒業させてあげないといけない。それをしないで、ただ大学に入れば良いというだけでは北部の高校は使命を果たしてないのではないかと思うのです。

高校時代は親子と一緒に暮らす最後の三年間。「どうかお父さんと向き合ってください」と親御さんにもお願いしています。殻を破つてチャレンジせいや、と言うのも、それが一つの力、そういうひとりで生きるための力につながると思うからです。

舞鶴が好き!

西高には、舞鶴が好きという生徒が多くいます。教育や看護に進む生徒が多いのも、この二つの職業は故郷に帰って来れる可能性があるからです。

いまの生徒はやさしいので口ではいろいろなことを言っても、両親のこともちゃんと考えていたりします。

そして、できたら地元に戻りたいけど、なかなか帰る場所が

ない、それを考えて、看護師の免許を取る、病院に進む、教師になる、市役所や公務員を目指す……。それぐらいしか現実的にはないのですが、以前なら地元には仕事もないし、遊びもない、残つたのは自然だけ、という時代もありましたが、いまは少し違います。

昔のように交通の便も悪くないので、都会は遊びに行くところ、あとは職場さえあれば、生まれ育つた舞鶴がいい、と考える生徒が増えています。

実際、どれくらい生徒が帰つて来れるかといつたら、なかなか厳しいです。例えば教員にしても少子化で採用も減っています。でも、そういうなかでチャンス求めて頑張る生徒もたくさんいます。

西高のDNA

前同窓会長の南会長が酒造りに喩えて学校のことを話されたことがあります。

「生徒は米、教師は杜氏、そして、美味しい酒を造るためには美味しい水が要る。その水は地域や保護者。さらに、最後に大事なのは酵母菌が要る。その酵母菌が『双鶴同窓会』ですよ。」そうやって、美味しい、立派な「西高生」ができるんだ、と。

この話を聞いた時、私は「あ、これやな」と思いました。我々教師はほんとうに長い年月の一部分を職人として預かってるんですね。西高のDNAは長い年月に脈々と流れているんです。

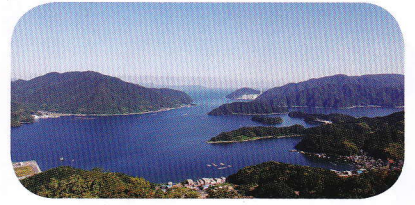
それは学校を預かる者の一つの心得として、私も校長としてはじめて西高へ来て、これまで他の高校でしてきたことをどんどんしたらいかといえ、そうは思わない。西高に脈々と流れているものを踏まえてすることです。そうじゃないとやっぱりだめだと思っんです。

そういう意味で、いい酵母菌、いいDNAが西高には流れていると私は思います。これまで多くの高校を経験しましたが、他校には流れていない部分なんです。西高はほんとうにそういう意味で立派な素晴らしい学校だなどと思えます。



理数探究科オリジナルキャラクター『り〜たん』





舞鶴に 新幹線を

舞鶴市長
多々見良三



双鶴同窓会東京支部の皆様には、平素より大変お世話になっており、心から感謝申し上げます。

舞鶴市では、人口減少を極力抑制し交流人口を拡大することにより、定住人口増加に匹敵する効果を生み出すための目標として「交流人口三〇〇万人、経済人口一〇万人都市・舞鶴の実現」を掲げ、いち早く舞鶴版「地方創生」に取り組んでまいりました。

また、平成二十六年年度には、京都府北部地域五市二町（舞鶴市、福知山市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）が一丸となって「海フェスタ京都」を開催し大成功を収めたことと、北部地域の広域連携が一層進展いたしました。

このような中、五市二町では、昨年四月に「京都府北部地域連携都市圏推進宣言」を行い、水平的な広域連携のもと、現在様々な連携事業に取り組み、圏域全体の活性化に鋭意努めているところであります。

人口三〇万人規模を有するこの地域は豊かな自然と歴史・文化を有し、さらに平均合計特殊出生率は一・八二で、国の目標値（一・八）を既に超える高い水準を誇っており、これまでの長い歴史の中で培ってきた教育、医療など多くの地域資源が充実

し、子育てしやすい環境が整っているほか、域内の有効求人倍率は一・二六で雇用環境も高い水準にあります。

そして、圏域全体の活性化に大いに資する、今話題の北陸新幹線敦賀以西の延伸ルートについては、小浜・舞鶴・京都を経由する「舞鶴ルート」を含む三ルートが選ばれ、現在、国土交通省が調査を実施中です。

北部地域は、海上・陸上・航空自衛隊、さらには、米軍レイドーサイトが集積する「国防の拠点」であり、第八管区海上保安本部、海上保安学校が所在する「海の安全の拠点」であります。そして、隣接する福井県嶺南地域を含め、火力発電所や原子力発電所が集積する「関西経済圏のエネルギ拠点」であり、「災害に強い京都舞鶴港を有し、南海トラフ地震におけるリダンダンシー機能」も備えるなど、この地域は日本海側における重要な役割と機能を有しております。

また、年間約一、〇〇〇万人の観光入込を誇る観光の拠点であり、かつ年間約六、四〇〇億円規模の豊富な産業基盤を有する地域でもあります。

このような日本海側の重要な地域を公共事業として新幹線と結び、将来的な山陰新幹線との接続による日本海側国土軸と、

日本海側と太平洋側を結ぶ南北軸とをしっかりと形成するためには、北陸新幹線はこの「舞鶴ルート」が最も効果的かつ合理的なルートであり、まさに将来の日本の国益につながるものと確信しております。

内の最終決定に向けて全力で取り組む所存であります。本市にとつてまたとないこの好機を最大限活かしてまいりたいと考えておりますので、双鶴同窓会東京支部の皆様には、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「北陸新幹線」を 京都府北部地域へ



西舞鶴高校の卒業生が東京で集う 同窓会開催のご案内

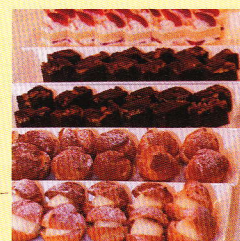
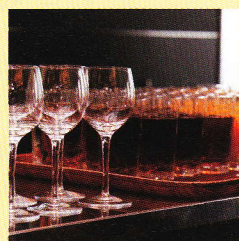
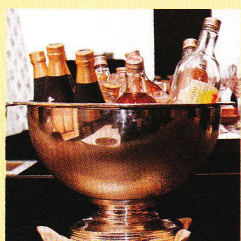
2年に一度の双鶴同窓会東京支部総会・懇親会を下記のとおり開催いたします。

ふだんなかなかお会いできない同窓生にも会える良い機会です。

同級生でお誘い合わせのうえ、懐かしい仲間と緩やかな時間を楽しみませんか。

記

- 日時 平成28年11月12日(土) 正午～
受付開始 午前11時30分
- 会場 新宿京王プラザホテル(新宿区西新宿2-1-1 TEL 03-3344-0111)
本館5階「コンコードボールルームA」
- 会費 お一人 10,000円
(内訳: 懇親会費 9,000円 寄付金 1,000円)
- ※連絡通信費など同窓会の運営費が逼迫しております。
ご参加いただけない会員の皆様におかれましても一口1,000円以上のご寄付をお願い致します。
- 総会 12:00～12:30
- 懇親会 12:30～15:00
- ・ 舞鶴産品福引大抽選会を開催
 - ・ かまぼこ・平天など舞鶴物産の販売も行います
 - ・ ご出席いただきました皆様には、お土産をご用意しております
- アクセス
- ・ JR新宿駅西口下車 徒歩5分
 - ・ 京王線、小田急線、丸の内線、都営新宿線 新宿駅下車 徒歩5分
 - ・ 都営大江戸線 都庁前駅B1出口すぐ
- お願い!
- 会費・寄付金につきましては[事前振り込み]をお願い致します。
同封指定用紙にて11月4日までにお振込みください。
会場であるホテルプラン値上げにより懇親会費が変更となりました。
ご理解賜りますようお願い致します。
同窓会は皆様のご厚意の寄付金により運営されています。
変わらぬご協力をどうぞよろしくお願い致します。



御礼

平成26年10月～平成28年9月までの間に東京支部運営費（総会準備・通信・連絡など）として一口1,000円以上のご協力をお願い致しましたところ、たくさんの方々から温かいご協賛をいただきました。また、前回の東京支部総会におきましても、多くの企業、個人の皆さまから、寄付金、寄贈品をご提供いただきました。

いずれも、紙面の都合上、お名前、会社名は省略させていただきますが、心より御礼申し上げます。引き続き同窓会にご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

お願い

東京支部は、ここ数年厳しい状況にあります。幹事会は手弁当であることは勿論、通信・交通・交流会費など、担当者が立替または自己負担している現状です。健全財政確立のため、是非とも一口1,000円以上、できれば二口～五口程度のご協力を切にお願い申し上げます。

今回の「いわし雲」におきまして、4名の方からご協賛をいただきました。
誠にありがとうございました。



医療法人社団永遠幸

理事長

寺元章吉

(昭和50年卒)

Natural ART Clinic 日本橋

〒103-6008 東京都中央区日本橋二丁目7番1号

東京日本橋タワー8階

電話 03-6262-5757

<http://naturalart.or.jp/>

新橋夢クリニック

〒105-0004 東京都港区新橋二丁目5番1号EXCEL新橋

電話 03-3593-2121

<http://www.yumeclinic.net/>

SMBCフレンド証券株式会社

取締役社長

團野耕一

(昭和48年卒)

〒103-8221 東京都中央区日本橋兜町7-12

電話 03-3669-3221

佐倉市議会議員
佐倉市監査委員

山口文明

(昭和36年卒)

〒285-0005 千葉県佐倉市宮前1-15-10

電話 043-485-1161 ファクス 043-486-1000

コスモヘルス株式会社

専務取締役

中西正博

(昭和49年卒)

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町二丁目6番2号上野ビル9階

電話 03-5209-5858 ファクス 03-5209-5859

<http://www.cosmohealth.co.jp> <http://www.cosmo-hc.jp>

双鶴同窓会 東京支部の活動報告

平成26年

11月8日(土) 東京支部総会・懇親会開催 於:新宿京王プラザホテル

平成27年

6月13日(土) 本部総会出席 於:舞鶴グランドホテル
増本支部長・澤田事務局長

7月4日(土) 関東青葉嶺会総会出席 於:アルカディア市ヶ谷(私学会館)
増本支部長・澤田事務局長

11月8日(土) 阪神支部総会出席 於:大阪リバーサイドホテル
増本支部長・澤田事務局長

11月14日(土) 舞鶴学講座2015出席 於:東洋大学白山キャンパス

11月28日(土) 舞鶴出身者の集い参加 於:ルポール麹町
團野副支部長をはじめ西高出身者30余名参加

平成28年

6月11日(土) 本部総会出席 於:舞鶴グランドホテル
増本支部長・團野副支部長

7月31日(土) 京都支部総会に出席 於:ホテルグランヴィア京都
増本支部長・澤田事務局長

双鶴同窓会東京支部会則

(名称)

第1条 本会は双鶴同窓会東京支部という。

(事務所)

第2条 本会は必要に応じて事務局を置くことができる。

(目的)

第3条 本会は会員の教養を高め、会員相互の親睦を図ると共に本部及び他支部と連携し母校の発展を援助することを目的とする。

(会員)

第4条 本会は舞鶴高等女学校、舞鶴第一高等女学校、舞鶴中学校、舞鶴第一中学校、西舞鶴高等女学校を卒業した者で関東地区及び中部以東の東日本全域(東北・北海道を含む)に在住、又は勤務する者、及びこれに準ずる者をもって組織する。

(役員)

第5条 本会に役員をおく。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 支部長 1名 | 2. 副支部長 若干名 |
| 3. 事務局長 1名 | 4. 幹事 若干名 |
| 5. 会計 2名 | 6. 監査 1名 |
| 7. 顧問 若干名 | |

事務局補佐として任意でアドバイザーを若干名おく。

(役員の出選及び任期)

第6条 役員は総会において選出し、その任期は4年とする。但し、再任を妨げない。

(経費)

第7条 本会の経費は総会費及び運営費その他の収入をもってこれに充てる。

(事業)

第8条 本会は第3条の目的を達成する為次の事業を行う。

1. 総会の開催
2. その他目的達成に必要な事項

(会計年度)

第9条 本会の会計年度は4月1日から翌々年の3月31日までとする。

(会則の変更)

第10条 本会則の改訂は総会において行う。

附則

この会則は双鶴同窓会会則第6条、双鶴同窓会支部規定に準じ2002年11月16日から実施する。

2012年11月3日、第4条、第5条改訂

会計報告(平成26年4月1日～平成28年3月31日)

収入の部		支出の部	
繰越	201,545	総会会場費	768,000
運営費	369,000	いわし雲・パンフレット他	167,184
会費(8,000×85 4,000×1)	684,000	案内状発送費	113,742
ご祝儀	108,000	高額協賛者謝礼など	14,996
本部補助金	150,000	払込手数料	17,310
オークション売上	89,300	来賓みやげ	40,176
雑収入	18,678	返信用はがきなど	78,801
		交流会費	326,970
		事務用品費	40,240
		雑費	11,886
小計	1,418,978	小計	1,579,305
		次期繰越	41,218
合計	1,620,523	合計	1,620,523

以上、ご報告申し上げます。

2016(平成28)年3月31日
会計幹事 小平 智子
坂本 秀樹

監査規定にのっとり、関係書類、領収書等を照合したところ正確に処理されており、適正であったことをご報告申し上げます。

2016(平成28)年4月30日
会計監査 黒田 準介

●双鶴同窓会役員一覧

《本部》

会長 内藤行雄 (昭41高)
副会長 戸祭 武 (昭22中)

大瀧隆信 (昭37高)

藤岡由美 (昭40高)

小西正純 (昭45高)

米山隆一朗 (昭51高)

理事 渡辺 広 (昭48高)

副理事 柿本徳栄 (昭47高)

庶務理事 林田光弘 (昭40高)

増山 寛 (昭44高)

中西 毅 (昭49高)

永山隆司 (昭50高)

野村美由紀 (昭55高)

森 宏昭 (昭56高)

土師千穂 (昭62高)

竹田友子 (昭63高)

瀧口祐加 (昭21高)

荒谷琴路 (昭24高)

西村和夫 (昭48高)

田中俊樹 (昭36高)

齋藤友幸 (昭43高)

長島雅彦 (校長)

土手敏道 (全日制副校長)

大志万洋人 (通信制副校長)

竹村尚行 (事務局長・昭47高)

金村九二夫 (第7代会長・昭26高)

南 房夫 (第8代会長・昭32高)

《京都支部》

支部長 小田彬人 (昭27高)

事務局長 藤元浩幸 (昭60高)

《阪神支部》

支部長 谷村久兒雄 (昭42高)

事務局長 岸本 登 (昭47高)

《東京支部》

支部長 増本治夫 (昭34高)

事務局長 澤田謙二 (昭48高)

集まっています。

—四十二年卒同窓会—

柏原均

昭和42年卒 西高19回

昭和四十二（一九六七）年卒の私たちは、関東地区在住の者を中心に、毎年、双鶴同窓会関東支部「学年版」を開催しています。

会は今回で十回目をむかえ、また、卒業後五十周年の節目の年となりましたので紹介させていただきます。

私たちは、昭和二十二年生まれから始まる、団塊の世代の二期目（昭和二十三年〜二十四年生）です。学校はすし詰め状態、小・中・高といずれも戦前の古い木造の建物を教室に使用していました。これらの古い校舎は、私たちの世代が卒業した後、まもなくして取り壊されました。

当時、第一の難関は進学でしたが、この競争は、就職難、は結婚難まで続く心配していた親たちもいたようです。

一方で、西高に入学した年には東京オリンピックが、その六

年後には大阪で万国博覧会が開かれるなど、日本が戦後の復興期を経て、経済を中心に世界中を相手に発展していく時代でした。

卒業後のそれぞれの軌跡は千差万別ですが、高度成長時代から、バブル期、その後の不況期に続く流れの中で、いろんな経験をしてきた世代です。

思い起こせば、十年程前、元応援団長の飯田さんの呼びかけで、入り口で頭がぶつかるような（私はぶつきました。）安い居酒屋で一回目を行い、以後は幹事持ち回りで、毎年、場所を変えています。

最近では、十年前と比べると会場も良くなりました。これに加えて女性の厳しい評価がありますので、「おいしい料理」が出ると条件に会場を探しています。

今年も、六月に「ルポール麹町」で開催しましたが、舞鶴や



京都から駆けつけてくれた人もあり、楽しいひとときを過ごしました。

クラスが別であったため高校時代は話したこともなかった人同士でも、この会に出るとすぐ打ち解けていくようで、いつも賑やかな会になります。

このような集まりができれば、母体の双鶴同窓会東京支部があったからです。来る東京支部総会では、他の学年の皆さまとも交流が深まりますよう、皆さまよろしく願います。

次の世代につなげよう 同窓会の輪

11月12日（土）正午

同窓会へ行こう！

会場 新宿京王プラザホテル

編集後記

「いわし雲」編集および総会準備については、皆さんの空き時間——土曜日の夕方が多いのですが——に参集いただき、話し合いを重ねてまいり、今回もようやく発行にたどり着くことができました。事務局長澤田さんをはじめ、皆様、有り難うございます。

北村さん、本業のデザイナーオフィスの仕事が忙しい中ここまで「いわし雲」を仕上げていただき感謝申しあげます。

多くの同窓会同様、当双鶴同窓会東京支部においても逼迫したお財布の中でぎりぎりの運営となっております。毎回の話し

合いの会場代・飲食代は、当然参加者の手弁当で頑張っています！ 次号（二〇一八年）の「いわし雲」についても、今回と同様、会員の皆様楽しくお読みいただけるものに致します。ご期待ください！

運営・編集のお手伝い大歓迎です。是非ご連絡ください！

IZUMI HONGO

◎表紙題字

中川千恵子（舞女22回）

◎校正

小平智子（西高24回）

◎編集・構成

北村麻由美（西高29回）

◎編集人

本合泉（西高33回）